



各 位

2021年4月26日

上場会社名	株式会社 タチエス
代表者	代表取締役社長 山本 雄一郎
(コード番号	7239)
問合せ責任者	取締役執行役員 小松 篤司
(TEL	042-546-8117)

特別損失(減損損失)及び営業外費用(貸倒引当金繰入額)の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期決算において、特別損失として固定資産の減損損失(個別決算及び連結決算)並びに営業外費用として貸倒引当金繰入額(個別決算)を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について(個別決算及び連結決算)

当社の自動車座席事業における有形固定資産及び無形固定資産について減損の兆候が認められたため、割引前将来キャッシュ・フローを検討いたしました。割引前将来キャッシュ・フローの算定にあたっては、2021年度を初年度とする中期経営計画に基づき、将来の成長のための投資を織り込むとともに、足もとの経営環境並びに事業運営状況を慎重に考慮することに加えて、現在事業に供している資産の正味売却額も考慮しました。その結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ることになったため、2021年3月期の個別決算において、減損損失 2,745 百万円(見込額)を計上いたします。

また、在外連結子会社である TACHI-S Brasil Industria de Assentos Automotivos Ltda.において、自動車座席事業における収益性の低下がみられることから、減損損失 412 百万円(見込額)を認識いたします。これにより、前述の個別決算と合わせ、2021年3月期の連結決算において、減損損失 3,158 百万円(見込額)を計上いたします。

なお、当減損処理を行うことによって将来の費用負担を軽減するとともに、現在進めておりますグローバルでの事業再構築につきスピードを上げて推進し、事業の早期回復を促進してまいります。

2. 貸倒引当金繰入額の計上について(個別決算)

当社は、在外子会社に対し貸付債権を有しておりますが、当該在外子会社のうち3社について、財政状態が悪化したことから、2021年3月期の個別決算において貸倒引当金繰入額 3,708 百万円(見込額)を計上いたします。

なお、当該貸倒引当金繰入額に係る貸付債権は、すべて連結子会社に対するものであり、連結業績に与える影響はありません。

3. 業績に与える影響

2021年3月期の連結業績につきましては、現在集計中でありますので、まとも次第お知らせいたします。

以 上